
合鍵(あいかぎ)のケモノ
第3夜

単調な日々の繰り返しのなか、

帰り道に見かけるアパート2階の角部屋の女性。

名前も知らない、話をしたことも無い、

帰り道に挨拶をするだけの、不思議な関係。

彼女を助けたことがきっかけで

その女性と話をすることが出来た主人公は、

夜な夜なその女性とまぐわう夢を見る。

前2話分はこちらから宜しくお願いします。
『合鍵のケモノ -第1夜-』
https://www.dmm.co.jp/dc/doujin/-/detail/=/cid=d_318337/
『合鍵のケモノ -第2夜- 』
https://www.dmm.co.jp/dc/doujin/-/detail/=/cid=d_335460/



合鍵（あいかぎ）のケモノ

第3夜


あの角部屋の女性
いつもあの時間に家にいるってことは
くるくる
在宅かバイトか…学生？
…って詮索することでもないか
それこそプライベートだ
カリカリ
…『主婦』
ビクッ
の可能性もあるんだよな…
でも気になってしまうのはどうしようもないよなー…
コロンッ

合鍵（あいかぎ）のケモノ

第三夜

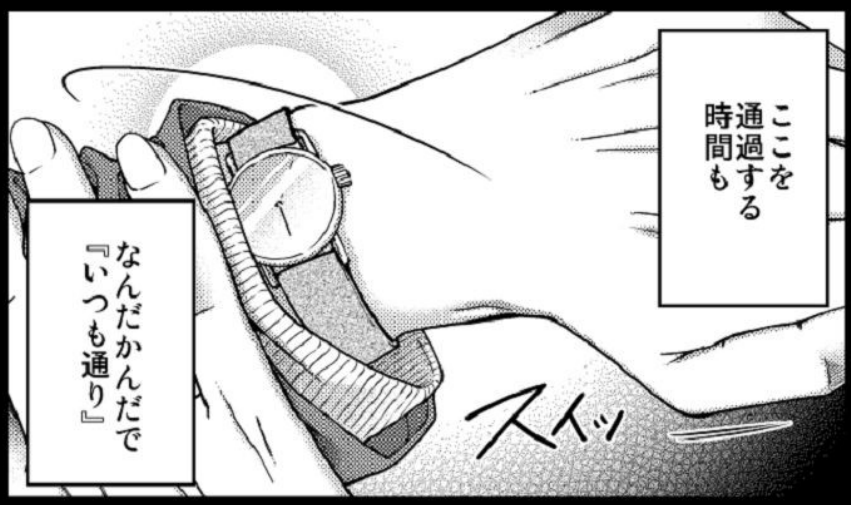





課題に追われ
腹減ったなー…
冬休みで
実家に戻り


なんだ
かんだで
キャーキャー
あっという間に
二週間ほどが
経ち


通学路(この道)を
通るのも
大分久しぶりな
感じで
変な感じだな


ここを
通過する
時間も
スイッ
なんだかんだで
『いつも通り』


閉まってる…
パキン
流石に冬場の
この時間に
窓は開けない
よな…


ガラガラ…
ニコニコ
！
…いや
ペコッ
『いつも通り
変わらないな…』
わたわた
わたわた
…ん？


なっ…
何だアレ…
キョロ
キョロ
ギュッ
誰か
呼んでる？
俺…か？
何か用が
あるのかな？
…でも
行っても
いいのか？
俺の
気のせいかも
しれないし…
でもスルー
するのも
変だし…
でも…
でも……
――違っていた
その時だ…！
ゴク…
ザッ…


ギィ…
よかった
気づいてくれて
夕方だから
流石に声を
張り上げる
わけにも
いかなくて…
あの…
それで
急なんです
けど
今って
お時間
ありますか？
え？
…あ、
ああまあ
…ハイ
本当？
ポッ
それなら少し
お話出来ま
せんか？
助けて頂いた
お礼もしたい
ので…


あの時の…
…
えと…
そのぉ…
ふわ…
すんっ
あれは本当
たまたまで…
あばばばっ!!
そっ
そんな
あの…っ
お夕飯
まだでしたら
食べていき
ませんか?
え?
でも…
ブンブン
…
えっと…
じゃあ…
少しだけ
頂きます…
ハイ!


荷物はスツールの上に置いてもらって
手は台所で洗ってもらって…
散らかったままでごめんなさい
…あまり人の部屋はじろじろ見るものじゃないけど…
どこに目を向ければいいんだろ…


大したものじゃなくてごめんなさい…
お口に合えばいいのだけど…
顔見知りとはいえ直接の接点は一度しかないのに
こんな…いいんだろうか…
少し食べたらお暇しよう
いただきます
はむっ
おいしい……！です！
本当？
良かった！
ぽ
あ


手作りだから
ちょっと
心配だったの
とんでもない！
いつも
コンビニ弁当とか
パンとか
だったんで
家庭料理が
すごく美味しく
感じます
誰かと
お食事なんて
本当久しぶりで…
ほら、最近は
仕事も買い物も
ネットで
済むでしょう？
だから
外との接点は
まずなくて
そんなに褒めて
もらうことなんて
なかったから
凄く
嬉しいです
そんな
大げさな
ははは


今の世の中
隣人がどんな人かなんて
お互い詮索なんてしないし


そんな中で
何かあった時に連絡が取れる人がいないんだって
年末のことで改めて思い知って


そういえばあの時ってスマホで誰かに連絡しなかったんですか？
四六時中持ち歩きはしないので…
あー…
確かに…


だから、本当にあの時は助かりました
ふかぶか
有難うございました
ビクッ。
いいえ!!
アレは俺も勘違いとはいえ


たまたま上を向いた時に
発見できただけで…


あれは「ルーティン」の一つだったから
——ただ、結果的に人助けできただけのこと
——嘘だ。
ルーティンの中にイレギュラー(たまたま)が起きただけ…
あのっ…大丈夫ですか？
はっ
お粗末様でした
あっ…スイマセン…満腹になったらボーッとしちゃって…
もじもじ…
あの、それで、…よかったら…なんですけど
はい？


私と
お友達に
なって
もらえませんか？
ガタッ…!!
…へ？


ああっ!!
変な意味ではなく!
あっ…
でも昔は友達いたんですよ!
疎遠になって行って…
でも返事を返すのが遅れたりして…
えっとその…あの…
実はこんな生活なのでろくにお友達も作れなくて…
なっ…
何が言いたいんだ…?
意図が掴めない…
?
?
?
?
で、でも
ほぼ毎日定時にあなたに会えるっていうのは
ボンボン…
安全確認というか
ボソボソ…
生存確認というか…
ツッコミまち?
それともボケ…?
カンカンって
ああつまり
あの夕方の夜回りのことですか?
あの、カンカンって木を鳴らすやつもって…
そうそれ!
そういう感じで…って
ん?
そう、そうかな?
……


ぷっ
ビクッ
そういえば
最近
地域見回りの
人たちを
見なくなり
ましたね
普通に
返されて
しまった…
あっ
それで、
さっき言って
いたでしょう？
「コンビニ弁当とか
パンばかり
食べている」
って
あ…
ハイ…
その、
良かったら
うちに夕飯、
食べに
来ませんか？
話し相手が
欲しくて…
…
ダメ…
ですか？

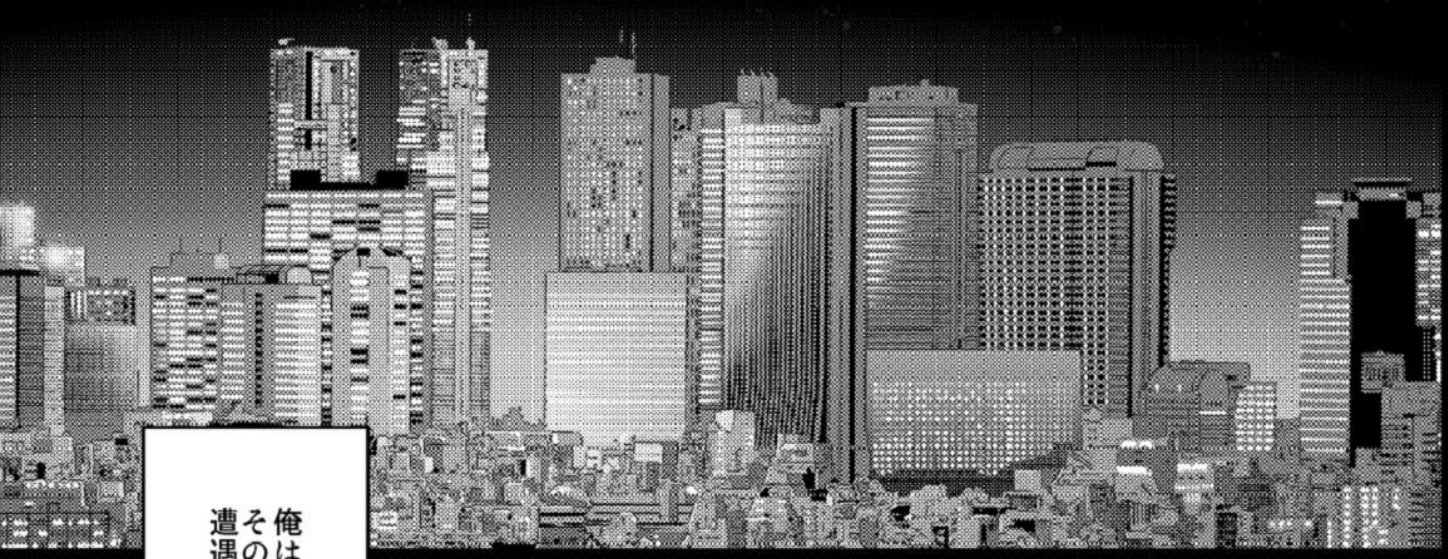

でも俺
本当つい先日話したばかりの見知らぬ一般人ですよ？
危なくないですか？
ガタッ
危ないん…ですか？
う…
そんな瞳で見られたら…
……っ
イ…イエ…
大丈夫デスケド…
ストンッ
ふふっ
有難うございます
イイヒトなのね…


ガッ
パキッ
ゴクゴクゴクゴク
ゴクッ
ゴクッ
ぷはーーー…
ビクッ
食事に限らず
本当
いつでも
いらして下さいね
話が
渋滞している…
まるで――

漫画やドラマのような展開だ

人の付き合いなんてその場限りのことが大半で

道端で人助けしても、その後何十年も関係を持ち続けることなど極稀なことで



俺は今、その『極稀』に遭遇しているんだ


ガラッ
トン
トン
トン
チャリッ
あるんだなあ
そんなこと
ガチャッ
こんな
都合のいい話
夢でも
見ているんじゃ
ないかな




あ…
あれ…!?
俺今…
家に向かって
歩いてたよな?
え?
ふふっ
どうしました?
変な顔をして
いや
だって…
ギュッ!
まさか無意識に
ここに戻って
きちゃった
…のか?
ほら
早く入らないと
蚊が入っちゃい
ますよ
夏服…
そうだ
お風呂にする?
ご飯にする?
お帰りなさい!
今日も
時間通りですね
ゴゴゴ…
あ!!
ドラマや
漫画じゃ
ないので
「それとも私?」
なんて
聞きませんよ♪
ふふっ♥
ひら
ひら
だって――


私が君を食べちゃうんですから…？
ギシ…
ドサッ!!
聞くまでもなく
す…
！
緊張しないで？
ここはもう自分の家だと思っていいんですよ
ペロ


——そうだ
ジ——————
前回の時も
彼女の家に行った時に
ふふっ…半立ちってところかしら？
さすさすっ
ビクッ
ビクッ
…あら？
ビクン
こんな夢を見たんだった


カリカリ
硬くなってきた…❤
コスコスッ
さきっぽいじいじされるの好きなんです？
ビクッ
ビクッビクッ
い…いやっ…その…っ
ピクッ
ギ…
ピクッ
いいんですよ隠さなくても
このあと包み隠さずさらけ出しちゃうんですから❤
ペロ
クチュ


こんなふうに…
ね？
!!
ふふっ
変わらず
アナタらしくて
可愛い❤
ビクッ
ビクッ
変わらず…？
それに
ドクッ
ドクッ
ドクッ
アナタらしく
狂暴…❤
さすっ
さすっ
ビクッ


お味は如何…？
んっ…
んっ
っ…
ビクッ
ん～～？
そっか今日はバイト帰りだから
ギシ…
汗で群れたニオイと味…❤
それじゃあしっかりキレイにしなきゃね？
ビクッ
ぱふっ…
はふっ
はっ
はっ
にゅるっ
にゅるん
スジにぃ…
溝にぃ…
先っぽも❤


はふっ
はふっ
カリ裏に
グリッ
グリッ
グリッ
入口も♥
お掃除のし甲斐がありますね♥
んっ…
ちゅう♡
ぢゅるるるぅ～…
ぢゅぽ♡
ぢゅうっ
ビクビク
う…ぁ
はっ…
はっ…
ぢゅるっ
ぢゅぽっ♡
ぢゅるっ♡
んっ…♡
んっ♡
すご…っ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
んっ
んっ♡
んっ♡
んっ
ぢゅぽっ
ぢゅぽっ♡
ぢゅぽっ♡
ぢゅぽっ♡
ぢゅぽっ♡
絡めとられているような
舌使いっ…


ガクガクッ
ガクガクッ
あらあら？
だんだん先っぽから
んぐっ…
んっ
んんっ
ぢゅぼっ
ぢゅぼっ
ぢゅぼ


!!
!!
ドロー…
…はぁ♪
…ふふっ♥
ボタ…
ボタ…
ボタ…
はっ…
ビッビッビッ
はっ…
ガコッ
ガコッ
…はっ
?…


スッ…。。。
射精すときは
一言仰って
下さいね？
お口からでも
いいんですけど…
くちゅ♡
ギシ…
折角なら
こっちで
食べたいので…♥
ペロォ…。


んっ…
みちゅ…
ぐっ
ん…
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
はっ…
ドクンッ
っ…
にゅちっ
ちっ…
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
はっ…
はっ
ドクンッ
ドクンッ
にちちっ…
はっ…
はっ…
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ


んんっ…
んっ…
んっ
んっ…
ぐりっ
ぷぴっ
ぷぴっ
ぷぴっ
ぷはっ
うふふ❤
はっ…
はー…
はー…
はー…
はっ…
奥まで咥えちゃいました…❤
みちぃ…


ほら
見てみます？
アナタの
生殖器が
ピクッ…
ピクッ
ぐにゅ…♥
くちゅ…
ピクッ…
ぐいっ
ビクッ
私に
飲み込まれて
いるところを
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
あ…
それとも
私を
貫いている
…という方が
いいですか？
…っ
ビクッ


あらあら？
ぐりんっ
くっちゅ
くっちゅ
震えて来ました？
解りますよ…だって
ぐりんっ
はっ
はっ
私達
はっ
はっ
ぐっちゅ
ぐっちゅ
ぐっちゅ
いま一つに繋がっていますから
にゅるる…
動きたいですよね？
出し入れしたいですよね？
はっ…
はっ…
はっ…
はっ
はっ…
そんな欲にまみれた思考が
全部伝わってくるようで…


お望み通り
はっ♥
ぷちゅ…
はっ…
はぁ♥
いただきまぁす…♥
はっ…
はっ
はっ
にゅっこ
にゅっこ
にゅっこ
ぐぐっ!!
あら可愛い声♥
いいわぁそういうのもっと頂戴♥


はっ
はっ
はっ
はっ
はぁっ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
挿入る時はきつめに…
っ…！
抜かれる時は緩めに…
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ズロロロロ
ズロロロロ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ


はっ♡
もどかしいでしょう？
はっ♡
はっ♡
はぁ♡
主導権を握られて思ったように動けないのって…❤
ギュッ…
うっ…
ほらまた
何度イきかけました？
っ…！
さっき一度射精したというのに
こんなに煽られて
もう出そうなんですか？


こんなに言われっぱなし…
黙っていられるかっ……！
そうでないと
私もアナタも満足出来ないでしょう…
…つぅ
ぐいっ…
ズルッ
ズルッ
ぷはっ♥
…はっ
はっ♥
やっぱり自分で動きたいでしょ…？
んっ♥
ギッ…
ギッ…
ギッ
ギッ
ギッ


はっ…
はぁっ♪
はっ…♪
かき回して♥
ねえもっと
つ♪
ぢゅぼっ
ぢゅぼっ
ゴゴゴゴ…
ぢゅぼっ♪
ぢゅぼっ♪
ぢゅぼっ♪
激しく突いて♥
重さで根元まで飲み込まれるっ…！
あ…ソレ…♥
舌先の動き…っ
れろっ♪
れろぉ♪
んん♪
とっても感じちゃう♥
はっ♪
はっ♪


はっ
はっ…
はっ
だっ…
だんだんっ
はっ
ペースが
上がって
き…た？
ぐちゅっ
ちゅぽっ
ぐちゅっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ
イきそう
なの？
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ


でっ…
でもっ
待って♥
あっ
ぷるんっ
ビッビッ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ズンズンズン
はっ
はっ
はっ
まっ…♥
ぶるんっ
ぶるんっ
あっ
ゴッ
ゴッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
まだだめ…♥


まだ私がっ
一番イイトコロにキてないからっ…♥
それまで我慢して…♥
パン
パン
パン
パン
パン
パン
パン
パン
パン
パン
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
ぐっ
ぐっ
ピクッ
ピクッ


ビクビクッ
ビクッ
ずびゅるるるるーー！
あっ♡
んぐっ♡
くるっ…くるっ♡♡♡


はーっ…
はーっ…
ゴプッ
ヒクヒク
ヒクヒク
はぁ…
待ってって
言ったのに…♥


こんな
中途半端な
絶頂じゃあ
全っ然
マンゾク
出来ない…♥


アナタもほら
まだまだ全然
でしょ？
まさか
これで終わりに
するわけ
ないわよね？
ドロォ～


ふふっ
まだまだ
硬さを
キープして…
はっ…
はっ…
はっ…
はっ…
にゅぷぷ…
それで
いいのよ
出がらしに
なるまで
ビクビク…
絶頂させて
あげる
ぐっ
ドドド


ふふっ
すっごい
卑猥な水音❤
中出しした
精液を出さずに
続けざまにする
SEXって
なんて
いやらしい
音が出るんで
しょうね
念入りに
こすりつけて
俺のモノだと
主張して
いるような
愉悦感
独占欲
パ
ズッ
ズチュッ
ズボッ
ズンッ
あっ
ギッ
ビクッ
はっ

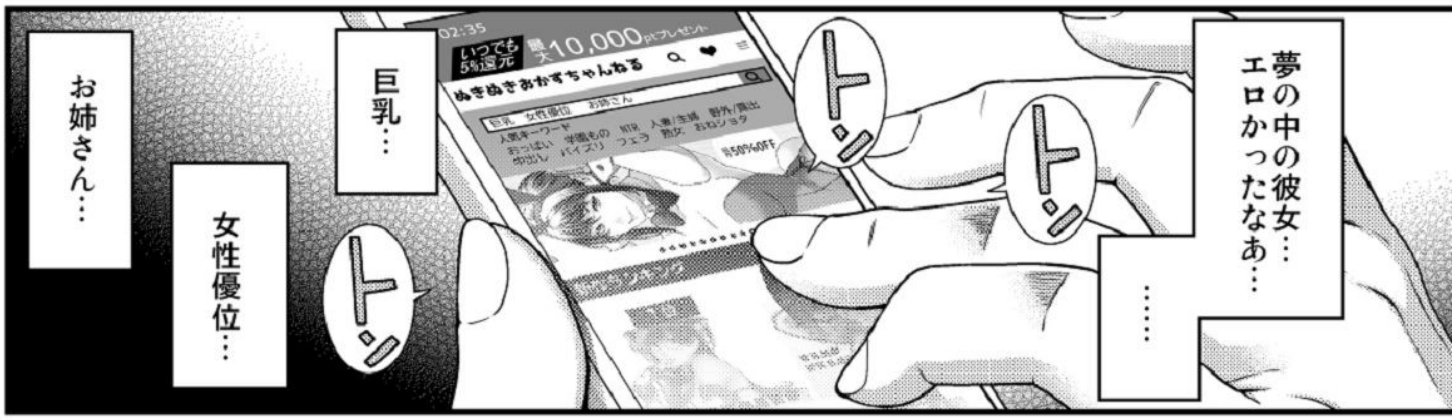

SEXって
はっ
はっ
はっ
はっ
あっ
んっ
んくっ
んっ
神様が認めた
最高の堕落行為(エンターテインメント)
だと思いませんか？
んっ
だってこんな
気持ちのいい
ことをしないと
滅ぶのですから
グッチュ
グッチュ
グッチュ
グッチュ
神様って
罪深い
ですよね？
はぁ
あっ
あっ
あっ
あっ
ビクビク
ビクビク
ビクビク

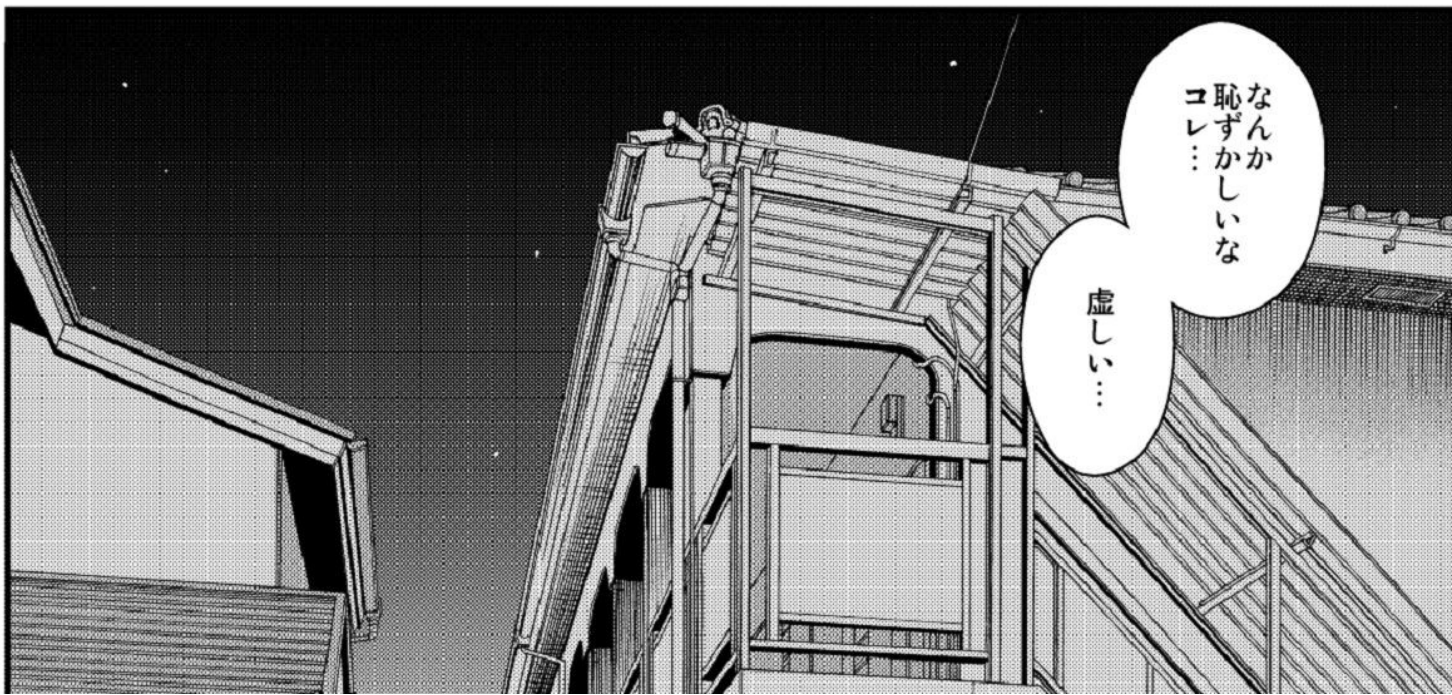

おっ
あっ
イッ…
イクッ
マッ
イっちゃう
ドドド
ガクガク


ぶしゃ!!
あっ
あぁぁ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ヒクヒク
はぁ…っ
ゴポッ…
ミトロォ…
はっ…
はー…
はっ…

またいつでもいらして下さいね







こんにちは、日吉ハナです。

前2作を読んで下さった方は有難う御座います。
約２年近く間が空いてしまいましたがようやく続きを制作することが出来ました。お待たせして申し訳ありません。

さて今回は「第3夜」。
今回は制作に２年分間が空いてしまったこともあり、日常パート（？）的なお話にしました。とはいえ今回のみでも楽しめる内容を心がけました、主にHページのところとかが…ｺﾞﾆｮｺﾞﾆｮ…
前半と後半で落差をつけたかったという挑戦。

そして、折角ならと過去描いたことのないページ数に挑戦してみました。漫画部分だけで約50ページ…どうしてこうなった…というのも、そろそろ「2階角部屋の女性はどういう人なのか」という説明をいれなくてはならないなと思った前半パートのページ数よりHページが少ないのは如何だろうかということで、少なくとも同等かそれ以上が欲しいという流れで今回のページ数となりました。

きっと、もっと削れるところや違った表現、魅せ方が有ったかもしれませんが、今はこれで満足です。（完成後見直して頭を抱える未来が見える）
次回以降はもっと腕を磨きつつお話を進めていきたいと思います！

ご意見、ご感想など頂けると励みになります。何とぞ…！以降もスケベな物が作れたらと思っていますので今後もどうぞよろしくお願いします！

ではまた次回、第4夜で…

日吉ハナ



足先まで描いていました。

2025年C106頒布　ポストカード



